

オープンキャンパスより

10月31日に電気電子工学科(53名)、11月14日に建築学科(46名)で実施されました。電気電子工学科では電気工事入門やゲーム制作などを行い、建築学科では製図や木材加工などの体験を行いました。「イメージが形になる体験ができて良かった」などの感想を多くの中学生からもらいました。全学科のオープンキャンパスに、延べ286名の中学生の皆さんが参加してくれました。全ての学科を通して、参加してくれた中学生はとても積極的に体験学習に取り組んでくれました。自分の意志で参加を決め、行動をしてくれた皆さんを見て、とても頼もしく感じました。今回のオープンキャンパスが皆さんの夢や目標を見つける手助けになっていれば幸いです。



電気工事(電気) ゲーム制作(電気) 製図体験(建築) 木材加工(建築)

卒業後の進路について ～進学編～

進学にも強い専門高校 ～専門を武器に推薦入学～



平成26年度卒業生の進学割合

主な進学先(過去三年間)
信州大学、滋賀大学、富山大学、名古屋工業大学、高崎経済大学、金沢大学、秋田公立美術大学、大同大学、中京大学、名城大学、愛知工科大学、神奈川工科大学、金沢工業大学、福井工業大学、日本大学、駒沢大学、東海大学、東洋大学、帝京大学 など

昨年の進学者は全体の47%で、今年もほぼ同じ傾向にあります。(※詳細は11月号をご覧ください。)

左のグラフは、昨年の進学校別の割合で大学に進学をした生徒は25%になります。大学入試の方法は普通高校のように大学入試センター試験を受けたり、筆記の学力試験を受けたりする生徒はほとんどいません。多くの生徒は高校で学んだ専門知識や高校3年間での学習内容、資格取得、クラブ活動等での成績を武器に、「推薦入試」を受験します。推薦入試では面接や口頭試問が行われますが、何より高校時代の活動と成果が評価されます。普通高校の生徒達とは別枠の「工業科枠」「商業科枠」での受験になりますので、競争相手は同じ専門高校の生徒です。ですから進学するためには、高校生活の3年間を充実させ、専門の力を磨くと共に、いろいろな分野で努力を続けることが大切です。ぜひ、将来の夢や希望を本校で叶えてください。

各科の取り組み ～電気電子工学科～

実践的な実習内容

ライントレースロボット製作を通して、頭脳となるマイコンボード製作、車体製作、制御するプログラミング、速さを競う大会の企画、運営を行い、実践的な力を身につけます。このように実習で得た知識と経験は、就職では会社の中核を担う力として期待され、進学では専門の実習や実験を行う時のリーダーとなる人材として期待されています。

多様な国家資格取得と成果

電気工事士(屋内配線工事の資格を持った人)や技能士(技術や知識の高さを国から認められた人)などの国家資格の取得に取り組んでいます。資格補習が充実していて、ものづくりに必要な知識と技術を身につけて多くの生徒が取得しています。



ライントレースロボット大会 第2種電気工事士合格者 電気系保全技能士合格者

各科の取り組み ～商業科～

特別学習日の実施

日商簿記検定と情報処理技術者の資格取得に向けて、2年生を対象に簿記分野・情報分野を集中的に学習する特別学習日を毎年実施しています。専門学校や大学の先生を講師に迎えて、いつもとは違った環境で集中講義を行います。

課題研究の取り組み

3年生の課題研究は7班に分かれ、各グループ様々なテーマの研究をしています。例えば南信州の果物や農産物を東京都品川区と飯田地域で、リヤカーを使って移動販売し、都会と地域の売れ方の違いや消費者動向を研究しています。



特別学習の様子(簿記) 特別学習の様子(情報) 品川区でのリヤカー販売